

元の姿を取り戻そうよ

名蔵中学校3年 高宮春花

青く澄み渡る大きな空
青く透き通った綺麗な海
碧く広がる豊かな山々
太陽にまけないほどに輝くみんなの笑顔
私はこんな沖縄が好きだ

でも、あの時の沖縄は全く違った
空は爆弾の雨を降らせた
海は真っ赤な血の色に染められた
山々は黒く焼け焦げてしまった
この沖縄は
姿をすっかり変えてしまった
あの戦争で
私たちはいろいろなものを失った
たくさんの尊い命が奪われた
子供たちのはしゃぐ声や
キラキラ輝いていた笑顔も
大人たちの唄や三線の音も
いつしか悲しみの涙に変わり
みんなの心や体も傷ついた
みんなみんな
戦争に奪われていった

奪われた後にできたものは
広大な基地だった
笑い声と三線の代わりに聞こえてくるのは
爆音と騒音だけ
青い空を飛んでいるのは黒い戦闘機
青い海に浮かんでいるのは黒い軍艦
碧い山に飛んでくるのは黒い砲弾

今、沖縄はどこに向かっているのだろうか
我が物顔で飛んでいる戦闘機があっても
それが日常だから
生活の一部になってしまっているから
誰も空を見ることがない
それは非日常のはずだったのに
戦争という悪魔は
人々の心まで奪ってしまった

奪われたままの空
奪われたままの土地
奪われたままの海
奪われたままの心
本当にこのままでいいの？
声を限りに叫んでみる

一度奪われたものは
どんなに返してほしいと頼んでも
もう返してもらえないのだろうか
早く元の沖縄の姿を取り戻そう
早く平和な世界を取り戻そう
十年先も百年先も
みんなが笑顔になる日がくるまで
心から笑って暮らせる日がくるまで
私は声を限りに叫ぶ
「元の姿を取り戻そうよ」